

安達太良山

概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・地震活動（図2）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・噴煙活動（図3）

遠望観測（監視カメラ：沼ノ平火口から西北西へ約8km）では、沼ノ平火口付近の噴気は観測されませんでした。

・地殻変動（図4～5）

GPS連続観測では、火山活動によると思われる変化は観測されませんでした。

・熱活動（図6～8）

現地観測の結果、沼ノ平火口付近の噴気・地熱地帯の状況に変化はなく静穏な状態でした。

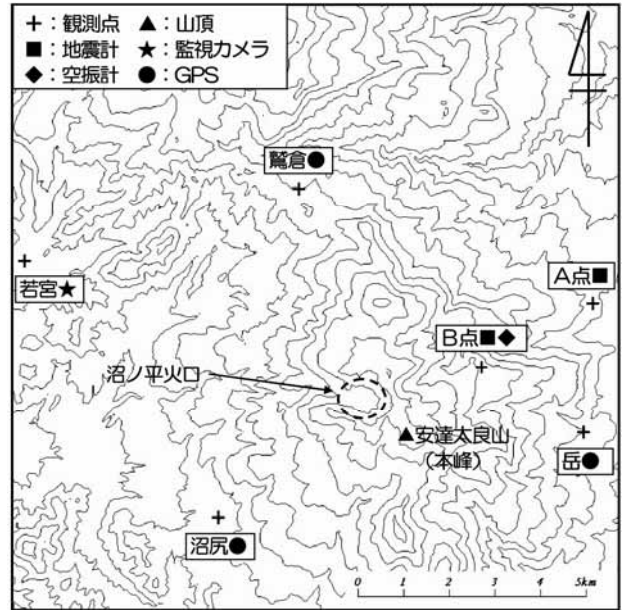


図1 安達太良山 観測点配置図

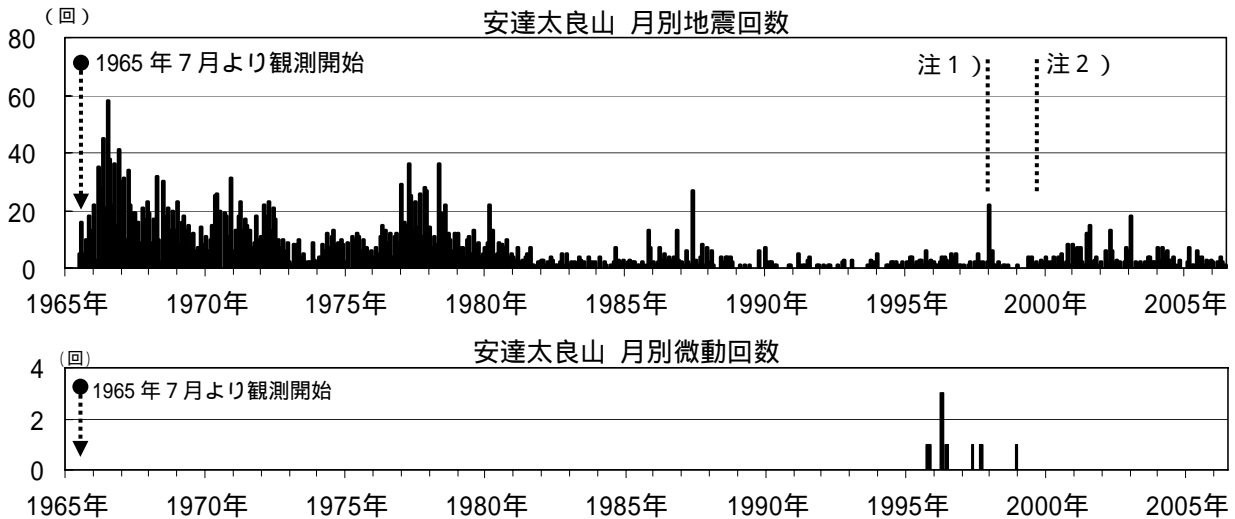


図2 安達太良山 月別地震回数および月別微動回数（1965年7月～2006年6月）

注1）1998年より検出基準変更（S-P 5秒以下から S-P 2秒以下に変更）

注2）1999年10月に観測点移設（沼ノ平火口の東北東約5kmから東約4kmへ移設）

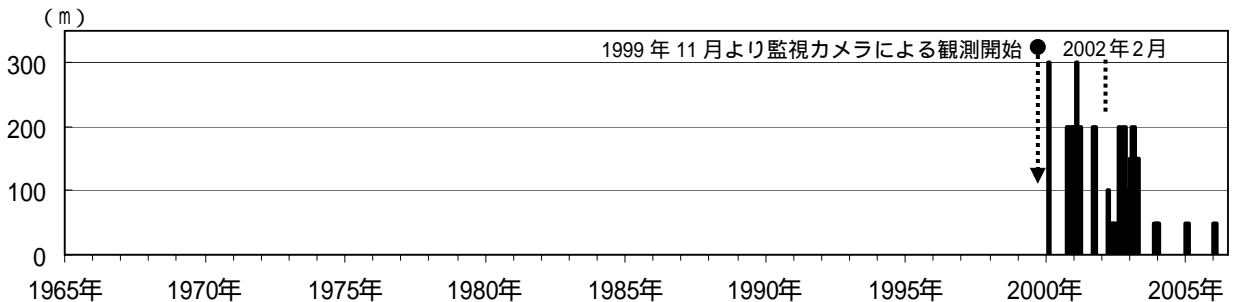


図3 安達太良山（沼ノ平）月別噴気高（1999年11月～2006年6月）

2002年2月以前は定時(09時, 15時)及び随時観測による高さ。

2002年2月以降は全ての時間を収録データから観測した高さ。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号 平17総使、第503号）

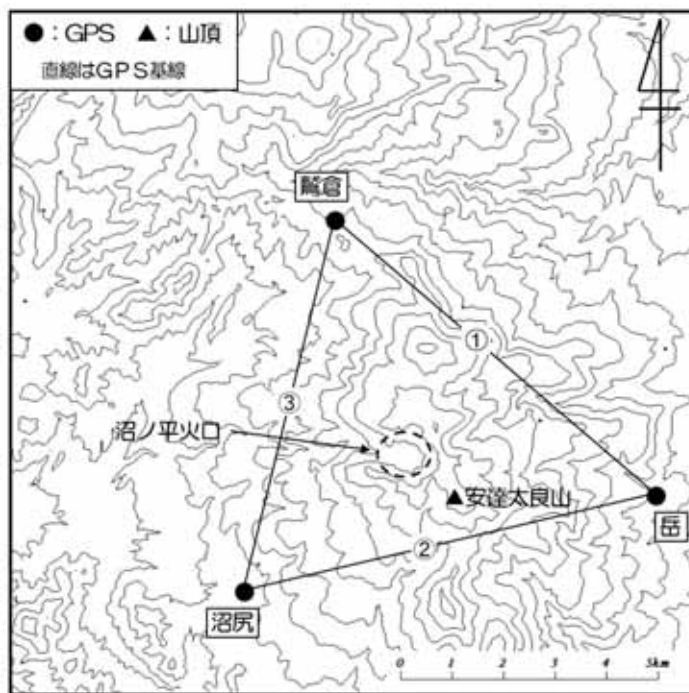


図4 安達太良山 GPS 観測点配置図

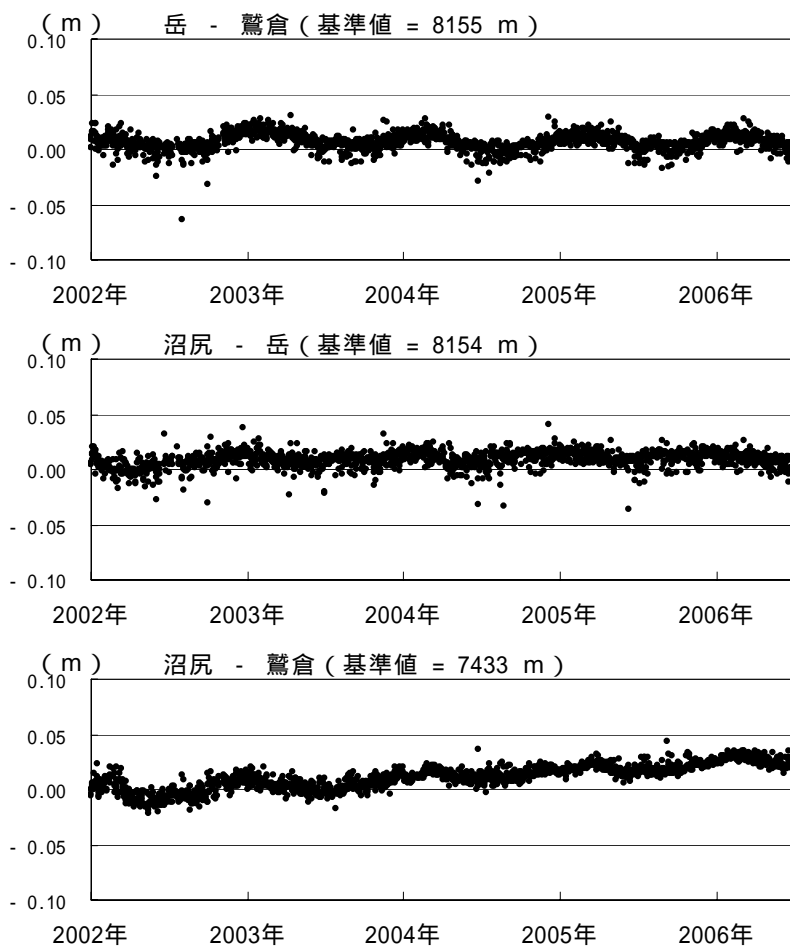


図5 安達太良山 GPS基線長変化図(2002年1月~2006年6月)

安達太良山現地観測の状況

5月31日と6月1日に沼ノ平火口を中心とした現地観測を実施しました。

沼ノ平火口の噴気は、高い所でも5m前後と全般に噴気活動の低下傾向が見られました。赤外熱映像装置¹⁾による観測で、沼ノ平南西変質地(Y-3)付近は周辺より地熱の高い領域が引き続き解析されましたが、前回(2005年10月18日)観測された噴気も今回は観測されず、噴気活動の低下が見られます。沼ノ平火口中央(Y-1)付近の噴気も前回同様停止しており、地中温度²⁾も低い状態(18℃)で、引き続き静穏な状況が続いています。

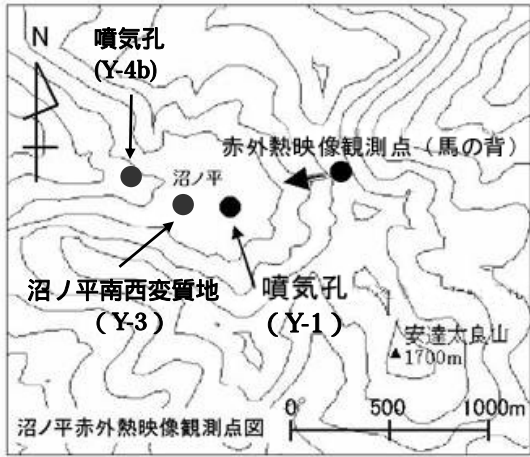


図6 沼ノ平赤外熱映像観測点図
(国土地理院 数値地図 50m メッシュ(標高)を使用)

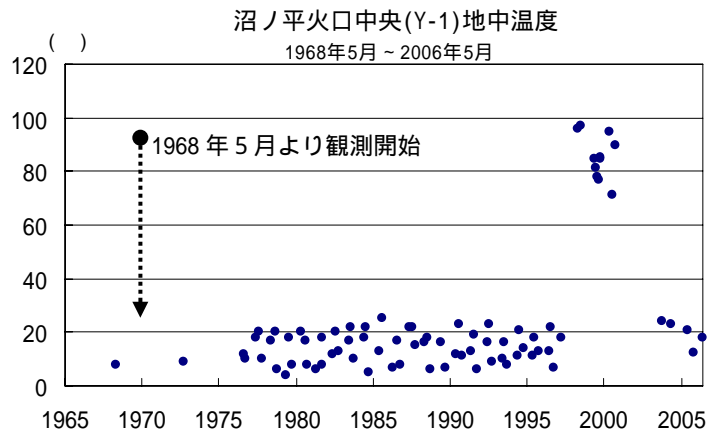


図7 沼ノ平火口中央(Y-1)の地中温度²⁾の変化

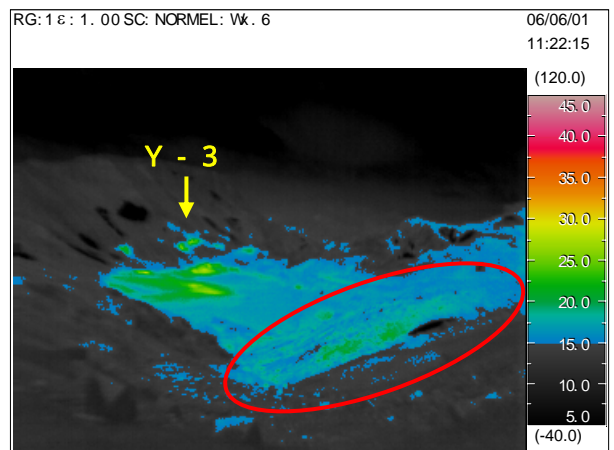
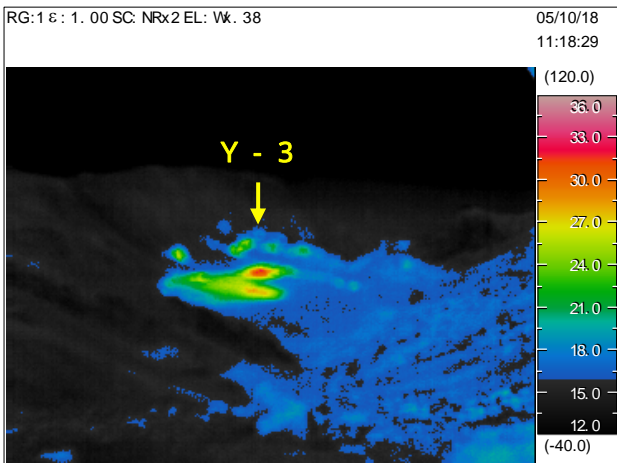


図8 沼ノ平の可視画像(上)と赤外熱映像画像¹⁾(下)
(赤外熱映像画像の赤い円で囲まれた範囲には、日射の影響によるものも含まれる)

- 1) 赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。
- 2) 地中温度等はサーミスタ温度計で測定。サーミスタ温度計は、センサーを直接熱源に当てて温度を測定する機器である。